

2 月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和5年2月22日（水）
開催時間	午前10時00分
開催場所	青少年センター 4階 会議室
出席委員	浦上 教育長 村本 教育長職務代理者 水野 委員 岩井 委員 藤井 委員
出席職員	原田副教育長・小山教育監・太田次長・木下次長・川添教育政策課長・黒井学校教育推進課長・齊藤人権教育課長・山本学務給食課長・打抜教育センター所長・松田生涯学習課長・谷桂青少年会館長・岸安中青少年会館長

【浦上教育長】 おはようございます。2月定例教育委員会を開催したいと思います。どうかよろしくお願いします。

本日の会議録の署名委員に、藤井委員を指名しますので、どうぞよろしくお願いします。

【浦上教育長】 では、1月の定例教育委員会会議録の承認につきまして、審議をいたします。委員の皆様方、何か質疑ございませんでしょうか。特にございませんか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 ありがとうございます。全委員異議なしと認めます。よって、1月定例会会議録につきまして承認と決しました。

【浦上教育長】 それでは、教育長及び教育委員の報告に移ります。

まず、教育長報告ですが、お手元の配付資料のとおりでございますのでご確認のほう、お願いいたします。

（教育長報告）

1 月 20 日（金）	定例教育委員会
〃	大阪府都市教育長協議会 1 月定例会（アウィーナ大阪）
1 月 21 日（土）	八尾市防災訓練
1 月 25 日（水）	シャープ（株）との連携による食育授業参観（竹渚小学校）
1 月 27 日（金）	給食コンテスト最優秀賞献立試食会（龍華小学校）
1 月 29 日（月）	第 35 回八尾市綱引競技選手権大会（八尾市立総合体育館）

1 月 31 日 (水)	車いすダンス講演会 (亀井小学校)
2 月 1 日 (水)	臨時教育委員会議
2 月 3 日 (金)	節分祭追儺式 (八尾天満宮)
2 月 4 日 (土)	高槻市市政 80 周年記念事業教育フォーラム (高槻現代劇場)
2 月 6 日 (月)	部長会
〃	令和 4 年度市町村教育委員会教育長・学校教育指導主管部課長会議 (アウィーナ大阪)
2 月 7 日 (火)	不登校対策に関する講演 (安中青少年会館)
2 月 8 日 (水)	中河内ブロック都市教育委員会研修会 (八尾市文化会館・会議室)
2 月 9 日 (木)	第 2 回中河内地区人事協議会 (大阪府民センター)
2 月 12 日 (日)	2022 年度近畿夜間中学校連合作品展 (生涯学習センター「かがやき」)
2 月 13 日 (月)	令和 4 年度大阪府教員育成協議会 (オンライン開催)
2 月 14 日 (火)	高安小中学校タイピングテスト視察
2 月 15 日 (水)	定例教育委員協議会
〃	令和 4 年度第 2 回総合教育会議
2 月 18 日 (土)	第 12 回八尾市小学生なわとび名人検定開会式 (八尾市立総合体育館)
2 月 21 日 (火)	2023 八尾市障がい児者問題協議会作品展見学 (八尾市文化会館・光のプラザ)

【浦上教育長】 1 月 20 日から 2 月 21 日までの私の動向について、お伝えしたいことがありましたので、お話をさせていただきます。

1 月 25 日 (水) ですが、シャープとの連携による食育授業参観が、竹湊小学校でございました。新聞報道とか、市政だよりも、周知はしてもらっていますが、シャープさんと八尾市は連携協定しております。その中でも、食育にかかわるバイトスキャンっていうものがあります。機器を耳の後ろへつけて、スマートフォンに噛む回数を表示します。これをもとにシャープさんが研究されているわけです。八尾市がそれを活用して、竹湊小学校で実証実験をしたんです。私も、バイトスキャンってどんなものかなと思って、実際に行って、給食と一緒に食べました。給食の前に、食育の授業を栄養教諭さんがされていて、45 分の授業でしたけど、大変よく分かりました。やはり実物を見ながら実際にやってみると、本当に今までと違った形の食育の授業ができた実感しました。その後、給食をみんなと一緒に食べました。大体皆さん、1 回の食事で、平均何回ぐらい咀嚼してると思われますか。委員さん方どうでしょう。

【村本委員】 私が小学校に入学のときに、校長先生から、1 回口に入れたら 30 回噛んでから飲み込みなさいということをおっしゃいました。なぜかはわかりませんが、それだけ覚えているので、結構私はよく噛んでいるほうだと思います。だから 1,000 回とか、もっと

超えてるのではないかと。

【水野委員】 今の村本委員の話だと、10 分食事をすると 30 回、3,000 回でその半分で 1,500 回が予想です。

【浦上教育長】 大体平均 800 回嚙むようです。私は、800 回ではないだろうと思って、しっかり嚙んだら、1,500 回でした。ちなみに、横で市長も計測されていましたが、市長が 1,100 回でした。嚙むことがどれだけ体にいいか、頭がよくなるとか、あごが発達するとか、5 つほどの観点からいいところがあるということが、授業で取り上げられていました。子どもは、1 回聞いたらすごく吸収すると思います。だからとてもいい実証実験だったのかなと私は思います。竹渕小学校では、当日のクラスは 6 年生だったので、1 年生から 5 年生もやってみるということで、全児童が体験しました、先生方に一生懸命やってもらって、ありがたいと思っています。これは広く進めていくために、八尾市と八尾市教育委員が連携を図りながら、今後進めていきたいと思っていますので、ご紹介だけさせてもらいました。

1 月 27 日（金）です。給食コンテスト最優秀献立の試食会が龍華小学校でありました。最優秀賞を取った子どもの献立が、八尾市内全小学校で出て、みんなで食べる日でした。私と教育監で行きまして、最優秀賞をとった子に、「おめでとう、よくがんばったね」と、言葉を述べさせてもらいました。

冬場のシーズンですので寒ブリの竜田揚げ、それと小松菜と豚肉のカレー炒め、大根の卵とじみそ汁でした。おいしかったです。

寒ブリは、ちょうどその前の日がすごい雪で、車が動かなくて、間に合うかどうか分からなかったんですが、無事到着し、八尾のすべての子どもたちに寒ブリを提供することができました。

それから、2 月 4 日（土）ですが、高槻市の市制施行 80 周年の記念事業教育フォーラムがございました。招待されましたので、見させていただきました。特に、今までの高槻市の教育にかかわる実践を発表されましたけども、今全国的にどんどん進んでいるコミュニティスクールを、モデル的に一昨年から実施しているということで、非常にいい試みだと私は思います。八尾でもそのあたりの研究を、スピードアップしながらしていきたいなと今考えています。皆さん方に、知恵をお借りしたいなと思っていますので、よろしくお願いします。

それから、2 月 7 日（火）は不登校の対策に関して私が講演しました。対象者は、桂青少年会館と安中青少年会館のスタッフさん、教育センターの指導者でした。私の今までの不登校にかかわる経験談をお話して、ちょっとでもそういったことを知っていたら、子どもにとってプラスになるだろうと思いながらお話をさせていただきました。

それから 2 月 12 日（日）は、近畿夜間中学校の連合作品展がございました。八尾市が担当市でしたので、生涯学習センターかがやきでありました。近畿 18 の学級に在籍する生徒さんたちの作品を、3 つの部屋に展示されてたということと、それぞれの学級には生徒会があって、八尾中学校の体育館で生徒集会をされたということを聞いています。私は、生涯学習センターの作品展だけを見学させてもらいました。1 字 1 字にすごく心のこもっ

た作品ばかりでした。

それから最後ですけども、2月14日（火）、高安小中学校で、タイピングテストの視察を行いました。八尾市内でやってるのは、今のところ高安だけだと思います。小学生も中学生もやっています。3日ほど開催日があって、小学校5年生のタイピングを見に行きました。みんなとても早くて、さすがだと思いました。授業ではなく休憩時間に、強制ではなく希望者を集めてやっているんです。司会していた人が、先生かなと思っていたら違って、ICT支援員さんなんです。すごい活躍してます。ICT支援員さんを、八尾に今11人配置していますが、こんなこともできるんだと感動しました。ICT支援員さんは、いろんな知恵を持っておられるので、今度、いろんな知恵をお借りするために、11人のICT支援員さんと懇談させてもらおうと思っています。八尾は「プログラミング日本一」をめざすと、市長が2年前にスローガンを掲げました。どんどんそういう部分を高めていきたいので、高安小中の事例を発信して、八尾市内の学校に広めていきたいです。タイピングは、基本だと思います。もちろん早い子もいれば、遅い子もいましたが、みんなの目の輝きが違いました。すごいです。一生懸命取り組んでいる。その姿が、成長に寄与するんだと私は思いました。

以上で私の報告は終わります。

【浦上教育長】 各委員さん方ですね、報告等ございましたらお願いしたいと思います。

【岩井委員】 1月30日（月）の午後、令和4年度大阪府市町村教育委員会研修会が、オンラインでありましたので参加しました。

内容は、元麴町中学校長で現在横浜創英中学・高等学校長の工藤勇一氏の「未来の社会をアップデートするための学校園づくり～いま必要な教育とは～」と題して、今、実際に進めておられる学校教育改革についてのご講演でした。

デジタル化等、今の急激な世界的変化に、やや遅れぎみの日本の状況がある中で、これまでの教育に、パッチワークの継ぎはぎのように学校教育改革を進めるのではなくて、教育の本質である「自律した子どもを育成すること」をしっかりと目指した学校教育に戻すことが必要であり、そのポイントは、「心理的安全性」と「自己決定」にあるというお話で、積極的・大胆に改革を実行しておられました。

なるほどと思いながら核心をついたシビアなお話を聴かせていただいて、改めて「自分の力で歩いていける自律した子どもを育てる」という最上位の教育の目標、不易のところから八尾の教育を考えることが大事だなと、大変な刺激と勉強になりました。

それから2月3日（金）の午後、大阪府教育庁のスクールエンパワーメント事業で、「確かな学びを育む学校づくり」推進校になっている大正小学校で、公開授業研究会がありましたので参加させていただきました。

研究主題は「自分の考えを豊かに表現する力の育成」、サブタイトルが『言葉の力を高め「伝える」から「伝わる」へ』ということで、国語科を中心に授業改善の研究を進めておられました。

インフルエンザによる学級閉鎖で、公開できないクラスもあったのですが、ほぼ全クラスの授業を見せていただきました。若い先生方が多くなっている中、言語能力の育成の要

となる国語の授業の基本のところを学校全体で共通理解をしながら研究を進めておられ、若い先生方一人ひとりの指導力がアップしてるのが手に取るように分かる授業ばかりでした。子どもたちもその先生方の熱意に後押しされ、一生懸命頑張っていたと思いました。

このような校内研究は、先生方の人材育成、指導力の向上、ひいては学校力アップには必須だと思いますので、各学校でも大正小学校での取り組みの成果を参考にさせていただいて、丁寧に取り組んでほしいと願っております。中でも、日常的に言語能力を高めるための朝読や、読書マラソンの取り組み、家庭や地域と連携した自主学習の取り組みなどは、八尾の中でも更なる広がりや充実を期待しております。

それから、ほかの委員からの報告があると思うのですが、2月8日（水）午後、中河内ブロックの教育委員会研修会がプリズムホールでありましたので、出席いたしました。

今回は、八尾が当番でしたので、教育長はじめ事務局の方々には準備など何かとお世話になりありがとうございました。3年ぶりで、どの市も委員の入れ替わりがありましたけれども、率直な意見交流ができて、中河内3市の状況がよく分かりました。お世話になりました。

2月15日（水）、総合教育会議に出席させていただきました。

以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。

ほかの委員さん、どうでしょう。

【村本委員】 それでは、報告させていただきます。

私も今、岩井委員がおっしゃいました令和4年度大阪府市町村教育委員会研修会が、アーカイブサイトで配信されたものを、2月17日（金）に拝見させていただきました。工藤勇一先生の講演がありました。

私は、宿題の全廃、定期テストの廃止、絶対評価の導入など、すごい思い切った改革に驚きました。多方面に渡りましたお話を聴かせていただきました。すばらしい講演だと思いました。

以上報告させていただきます。

【浦上教育長】 ありがとうございます。水野委員どうぞ。

【水野委員】 今、岩井委員が報告いただきました2月3日（金）、私も大正小学校です。ね、スクールエンパワーメント推進事業、確かな学びを育む学校づくり推進校ということで、伺いました。ポイントは、岩井先生が報告をいただきましたので、私が感じたことをちょっとお伝えしますが、まず一つは、タブレット端末は当たり前のように使っていて、前に市長が、文房具というお話をされていましたが、もう文房具感覚で、写真を撮って、ロイロノートにあげてそれをシェアする。そういうことでしたので、工程を分けて発表ということで、先生が瞬時にそれをシェアすることなので、とてもいいな、手を挙げるのが難しいとかちょっとしゃべるのが苦手な子に関しては、すごくいいなと思いました。

それから岩井委員からありましたように、国語科でしたので、やっぱりコミュニケーションの基礎という、どう話すか、どう考えて表現するか、あとはどうやって人の話を聴くかということにフォーカスがされていて、子どもたちがさまざまな場面で、いろんな表現を練習していたことが興味深かったです。

語彙力というものは、すごく生きるときの力になるなと改めて思いました。私は低学年を中心に見させていただいたんですけど、多様な背景の子どもたちがおられましたので、助け合って、一生懸命参加していた姿が印象的でした。私も教えていただきました。ありがとうございます。

以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。

藤井委員、いいですか。

【藤井委員】 私も2月8日（水）の、令和4年度中河内ブロック教育委員会研修会に、私は初めて出させていただきました。近隣の東大阪と柏原と八尾ということで、地域的な状況も似ていたり、想像できたりという中で、今回は浦上教育長から、不登校の対策というところでの発表をされましたけれども、本当に柏原市も東大阪市も教育委員さんたちが、ああなるほどという感じで、大変関心して興味深く聴いてくださっていたなというふうに印象を受けました。東大阪の教育委員さんが感想でおっしゃっていたことが非常に印象的で、何のために対策をするのかみたいな本質的な問いをおっしゃってくださったので、本当に私ももう一度考え直すいい機会をいただけたなというふうに思いました。ありがとうございます。

以上です。

【浦上教育長】 どうもありがとうございます

ほか特にはございませんでしょうか。

それではないようですので、次に進ませていただきたいと思います。

【浦上教育長】 報告事項に移る前に、令和5年2月6日付で、服部氏と馬場野氏の連名により提出されました請願「2023年度の通級指導教室設置と、教員欠員解消に関する件」の取扱いについてご報告させていただきます。

本請願につきましては、既に同趣旨の請願書が提出されており、当該請願による教育委員会会議の議決をした日から1年を経過していないため、八尾市教育委員会請願等取扱要綱第4条第1項第4号の規定によりまして、付議しないことといたしました。

これより提出のあった請願書を教育委員へ配付しますので、後ほど、ご覧いただきますようお願いいたします。

今、配付させてもらいますので、よろしくお願いいたします。

この請願については、今私が説明させてもらいましたが、今回は付議しません。とにかく教育委員さんに読んでいただきたいということですので、ご覧になってほしいと思います。よろしくお願いいたします。

{ 報告事項 }

【浦上教育長】 それでは続きまして、報告事項に移らせていただきます。

報告事項の②についてです。「いじめの重大事態事案への対応について」につきましては、八尾市個人情報保護条例第 14 条第 1 号の当該個人の正当な権利利益を侵害するおそれがあると認められるものに該当するため、公開可能な時期が来るまでは非公開とすべき内容となりますので、この報告につきましては、非公開とさせていただきます。委員の皆様方よろしいでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、本報告にいたしましては、非公開とすることといたします。議事の進行の都合上、この案件につきましては、他の報告等が終了した後に、行いたいと思います。

それでは、報告事項①「令和 4 年度 4 月から 12 月末までの八尾市のいじめの状況について」、齊藤人権教育課長より報告させていただきます。

それでは、報告のほうをお願いします。

【齊藤人権教育課長】 よろしくお願ひいたします。

私からは、令和 4 年度の 4 月から 12 月末までのいじめの状況について、学校に実施した調査結果といじめから子どもを守る課で受けた相談内容を元に、両課で分析した内容をご報告いたします。

配付している資料をご覧ください。なお、小学校には、義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程を含んでおります。

では、いじめの認知件数の表をご覧ください。

校種ごとにまとめたものでございます。参考として、右に昨年の件数も記載しております。

小学校は 1,849 件、中学校 225 件の計 2,074 件となっており、昨年度と比較し、全体の件数は減少しておりますが、千人率で比較をすると小学校では若干減少、中学校では若干増加となっております。

なお、いじめから子どもを守る課への相談回数は増加しており、児童・生徒、保護者から、いじめから子どもを守る課という相談窓口が認識されてきているものと考えております。

続きまして、「学年別認知件数」の円グラフをご覧ください。

上段が小学校、下段が中学校で、それぞれ左の円グラフは人権教育課が把握している認知件数、右側がいじめから子どもを守る課への相談人数を表しています。

小学校、中学校ともに 1 学期同様、学年が上がるにつれて件数が減少していることから、集団づくりが改めて重要であると認識しております。今後も引き続き自他を尊重することができる集団づくりを推進してまいります。

いじめから子どもを守る課への相談人数につきましては、大きな傾向はこれとって見られませんが、学校生活に慣れてきたり、人間関係や行動範囲が広がったりしたことで、保護者が不安に思われて、同じ保護者が複数回相談されているという状況がございます。

続きまして、「態様別認知件数」の棒グラフをご覧ください。上段が今年度、下段が昨年度のデータです。

小学校、中学校ともに、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」と回答した児童・生徒が最も多く、次いで、「ぶつかる、たたく、蹴られたりする」という身体接触を伴う被害を訴える児童・生徒が多くなっているという傾向は変わっておりません。

いじめから子どもを守る課が受けている相談内容についても、ほぼ同様の傾向がありました。

1学期と比べますと、「金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする」が増加しております。文房具を隠すといった嫌がらせになっております。距離感が近づく中で、少しちょっかいをかけて困らせて気を引いてやろうといった事案になっております。

今後も引き続き、「児童・生徒間でコミュニケーションを取っているつもりでも、ふざけ合いととらえるような事象や、言葉や身体接触による悪ふざけ、こういったところであっても、相手が精神的、身体的に苦痛を感じた場合はいじめに該当する」という意識の醸成、そして情報モラル教育を今後も推進してまいります。

続いて、「いじめ発見のきっかけ」の表をご覧ください。上段の表が今年度、下段の表が昨年度の結果でございます。

今回は、いじめから子どもを守る課に相談があったものは全件、学校が把握済みのものでございました。

ただ、以前までと異なり、地域からの相談があるなど、市内でも相談窓口の一つとして、いじめから子どもを守る課の認知が高まっているものと考えられます。

内訳としましては、小学校、中学校ともに、1学期と同様、白丸⑤「アンケートでいじめ被害を訴える児童・生徒」が最も多くなっております。

昨年度と比較しまして、白丸①「学級担任がいじめを発見した」が25件増加しております。また、黒丸①「本人からの訴え（アンケートを除く）」も57件増加をしております。また黒丸③「児童・生徒（本人以外）からの情報」も19件増加しております。

こういった変化は、「脱いじめ傍観者教育」により、児童・生徒の「誰かに相談する」という意識の向上が図られ、また、学校としてもいじめを相談しやすい体制を構築するとともに、ささいなトラブルに見えるものであっても教職員が丁寧に子どもたちの状況を把握し、いじめの積極的認知に努め、児童・生徒との信頼関係を築くことができている結果の表れであると考えております。

今後も、引き続き、児童・生徒のSOSを早期に受け止め、丁寧な対応を進め、いじめの未然防止、早期発見につなげていきたいと考えております。

報告は以上でございます。

【浦上教育長】 ただ今の報告に関して、委員の皆様方、ご意見ございませんでしょうか。

【岩井委員】 いじめの状況については、学期を終えるごとに丁寧に報告していただいて、ありがとうございます。

2学期を終えての報告ですが、これまでの報告と比べますと、いじめ発見のきっかけに随分変化があると感じております。「いじめ発見のきっかけ」となる人が、学校内では担任はもちろん、担任以外の先生や養護教諭等に広がりを見せていますし、先生からではなく、本人からの訴え、そして周りにいる子どもや、保護者からの情報がきっかけとなったケースが随分増えています。これは、「脱いじめ傍観者教育」の取り組みの成果が次第に「見える化」してきたのではないかなと感じております。

それで、少しお尋ねしたいのですが、今後も「脱いじめ傍観者教育」は続けてほしいと私は願っているのですが、授業を見せていただいたところ、小4でも中1でも内容がほぼ同じだったので、このままだと小学校4年生で受けたことと同じことを中学校1年生で受けるということになってしまうのですが、そのあたり人権教育課のほうで、何か考えを進めておられることがあったら、教えていただきたいと思います。

【齊藤人権教育課長】 ありがとうございます。岩井委員おっしゃられるとおり、本課としましても、今後も脱いじめ傍観者教育は継続してまいりたいと考えております。おっしゃいますように、令和6年度になりますと、小学校4年生で脱いじめ傍観者教育を受けていた子が、中学校1年生で二回目を受けるタイミングになってくるのですが、傍観者にさせないという狙いは変わらないんですが、教材については、別のものを活用するという方向で対応してくださっている企業さんと連携をしながら進めていってるところでございます。

以上になります。

【浦上教育長】 ありがとうございます。

岩井委員よろしいでしょうか。ほか。どうぞ水野委員どうぞ。

【水野委員】 発見のきっかけのところで、岩井委員も言っておられましたけど、本人からの訴えが、小学校で146件、中学校で40件ということで、ちょうどこれ12月に、生徒指導提要が新しくなりまして、ちょっとずつ今一生懸命読んで解析というか勉強させてもらってるんですけども、SOSの出し方教育っていうことが、いじめに限らず、自死の予防とか、様々なところで子どもたちが助けを求めるっていうことを、育んでいくということも、すごく大事なことで、多分八尾の先生方はすごく、ご本人からの訴えを大切にしておられるので、またどんどん広がっていくといいなと思います。友だちの訴えもそうですし、もしかしたら、保護者以外の、本人以外の保護者からの訴えというところも、先ほどの高槻のコミュニティスクールみたいな話で、地域で子どもは育てるということにつながっていくので、本当にとってもいい傾向だなと思っています。いじめはもちろんあってはならないですし、深刻化する前に、本当に社会全体で止めていかなきゃいけないと思っておりますが、SOSの出し方教育、これもまた意識してやっていただければと思います。

以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。ほか、どうでしょうか。

【藤井委員】 私がこれとは思ったのが、認知件数のいじめられた内容のところですけども、特に中学校のほうで、パソコンや携帯電話に誹謗中傷や嫌なことをされるっていうところが、令和３年度に比べたら、11件減っていて、これも脱いじめ傍観者教育の中で、この携帯電話を使って、どんどん子どもが追い込まれていく様子がすごくリアルに描かれていて、そういったことが本当に深刻に子どもたちがちゃんと受け止めて、そういった中での携帯電話とか、そういう中でいじめについてもちょっと考えて行動できるようになってきているのかなっていうふうに思いました。

以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。特にないですか。

【村本委員】 よろしいですか。

先ほどのご報告で、脱いじめ傍観者教育もまた中学でもやっていただけるということで、大変いい内容だというふうに思っておりますし、ちょうど３年ぐらい経ってもう一回受けるわけですが、その間に児童・生徒も成長もしてるでしょうから、その記憶が薄れているかも分かりませんので、いいタイミングで実施されて、きっと成果が出るんじゃないかなというふうに期待しております。

以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。

私から一つだけね、いろいろと事象を聞いてる中で、やはり一番大事なのは、当然子どもがそういったことをしないのが当たり前の話ですが、教師が研修などを受けるけれど、形骸化するのではというのが一番心配です。結局、ああまたかとか、そうではなくて、日頃子どもをしっかりと見て、研ぎ澄まされた人権感覚をしっかりと教員が持つことが重要ですが、それが忘れがちになってしまうことが一番恐ろしいです。最近聞いてると。ほんの一つのことが大きな問題になってしまうケースが多い。だから、形骸化しないように、人権研修とかいじめの研修をしっかりとやるということを、校長会でも再度、発信してほしいと私は思います。

以上です。

それでは、公開部分の報告は終了しましたので、すみません、傍聴の皆さん方は退席していただきますようよろしくお願いいたします。

傍聴の皆さん、どうもありがとうございました。

(傍聴者退場)

(以下、非公開報告)